

教育相談担当教員養成研修について

- 1 目 的 公立小・中・高等学校に勤務する中堅の教員に対し、今後、教育相談活動のコーディネーターとなる資質を養成する。
- 2 実施期間 H28年度～H31年度の4年間
- 3 受講対象者 公立小・中学校に勤務する30歳～40歳代の教員
(4年間で、小学校311名、中学校219名、計530名)
高等学校に勤務する35歳～45歳の教員 (4年間で248名)
- 4 実施日 研修3日(夏期休業中2日、冬季休業中1日)
- 5 会場 教育研究所、自治研修所
- 6 実施方法 (1) 集合型研修 1講座90分の12講座(小・中・高共通)
(研修内容)
○信頼関係をつくるカウンセリング
○いじめを防ぐ、学級内の人間関係づくり
○保護者との関係づくり(小・中・高)
○チーム支援の考え方と進め方
○不登校児童生徒への支援の在り方
○事例研究の進め方と援助策の検討
(2) 選択型研修 下記の講座より3講座選択(小・中学校)
(研修内容)
＜特別支援教育センター研修講座＞
・通常学級におけるユニバーサルデザインの授業
・不登校や思春期の問題にひそむ精神的疾患とその対応
・保護者との関係づくり(幼保・小)
＜教育研究所通信型研修講座＞
・不登校の理解と対応 ～基礎編～
・アサーションで自分も相手も大切にすることを育てる
・すぐに使えるピア・サポート
～仲間同士が助け合い、支え合う風土づくり～
(3) 通信型研修 下記の講座より3講座選択(高等学校)
(研修内容)
＜教育研究所通信型研修講座＞
・保護者との関係づくり
～ともに子どもを育てるために～
・教育相談担当になったら ～高校編～
・学級づくりシリーズV
～エンカウンターで学級の横糸を育てる～
・人権教育 ～いじめを予防する学級づくり～
・Q-Uの基礎 ～学級の“今”を知る～
・不登校の理解と対応 ～基礎編～
・アサーションで自分も相手も大切にすることを育てる
・すぐに使えるピア・サポート
～仲間同士が助け合い、支え合う風土づくり～
- 7 その他 受講完了後に修了証を発行